



## 木尾 優仁さん



応募時、中学2年生だった優仁さん。大崎中学校では勉強のほか、生徒会や陸上、空手にも力を入れました。「聖火ランナーを経験できれば、その経験を活かし、大崎町の発展のために活動したい」と聖火ランナー募集に応募しました。

しかし、コロナ禍で聖火リレーが延期になったほか、中学校最後の年には休校や行事の縮小、頑張っていた部活動の大会も中止になるなど、悔しい思いをしました。

聖火リレーは「走れることに深く感謝し、聖火を繋ぐ役目を果たすことにより、たくさんの人が笑顔になり、少しでも勇気と希望の炎を心に灯すことができた」という思いで走ったようです。

「当日走っている間は、カメラが目の前にあり緊張しながらも、中継を見ている尚志館高校の同級生や遠くに住んでいる親戚、沿道から、暖かい応援をもらい、気持ちよく聖火を次の方へ繋げた」と笑顔で話していただきました。



## 菱田小学校6年生が出発式でパプリカを合唱

志布志市観光船バースで行われたセレモニーで盛り上げました。

